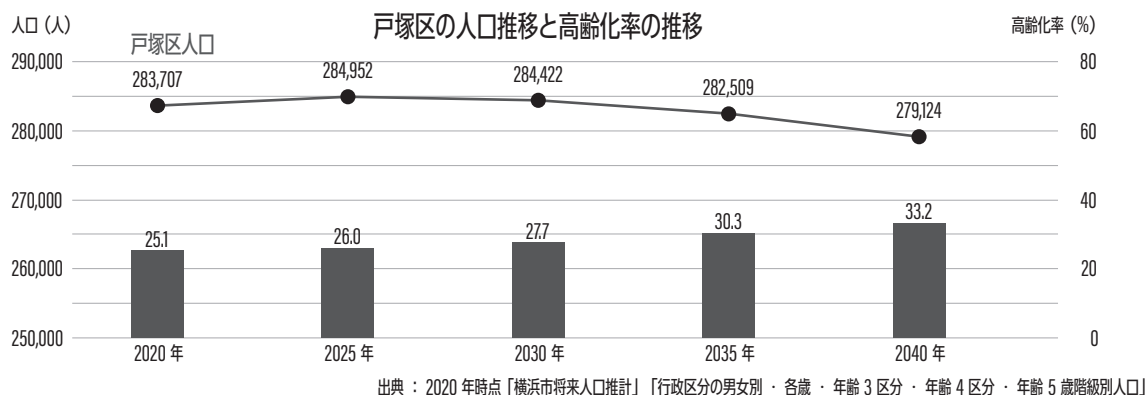
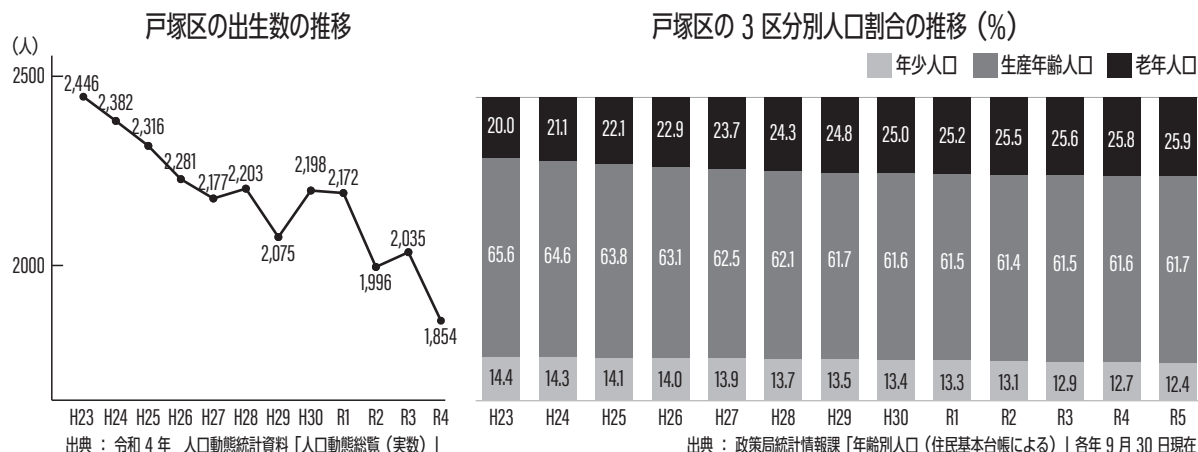


統計データから見た戸塚区

■ 人口の推移と将来人口 ■

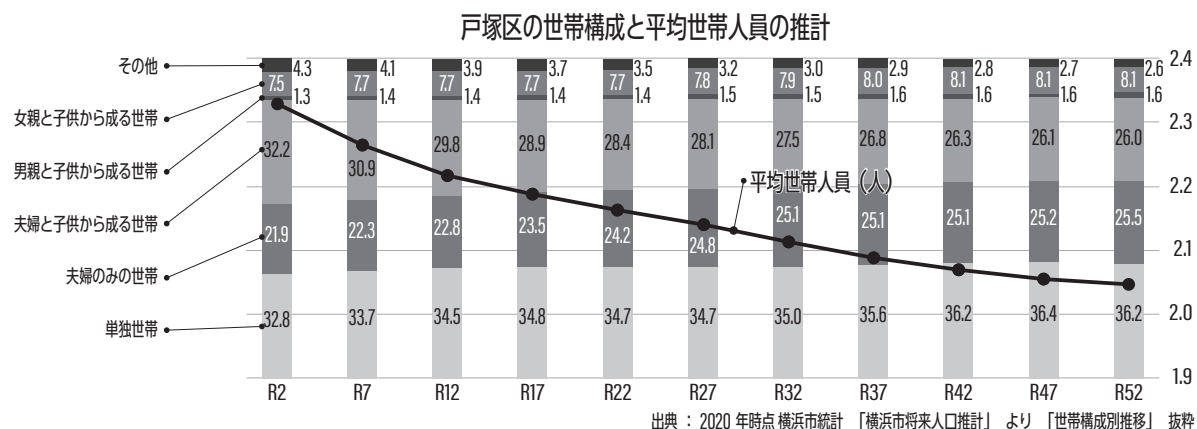
近年は、年少人口が年々減少し、一方で老年人口は増加しています。平成25年と令和5年を比較すると、老年人口の割合は10年間で約1.2倍になっています。



上記折れ線グラフのとおり、2020年時点の人口推計では、2025年をピークとして人口は減少に向かう見込みでしたが、実際の人口推移をみると、2021年をピークとしてすでに人口は減少傾向に向かっています。

■ 世帯数 ■

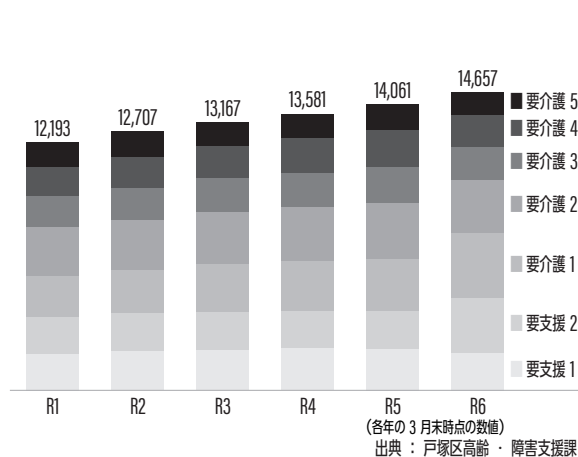
世帯数が増加している一方、世帯規模は縮小化しています。従来は家族で行っていた子育てや介護は、公的なサービスだけでなく、地域全体で支えていく必要性が高まっています。



■ 要介護認定数 ■

高齢者人口の増加に伴い、要介護・要支援認定者数も増加しています。

高齢者を支える仕組みづくりに加えて、健康づくりや介護予防の取組を進めていく必要があります。

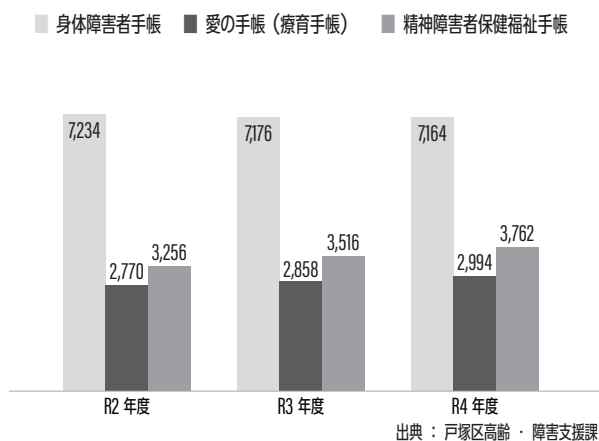


■ 障害者手帳所持数 ■

障害のある方の手帳は、障害の種類によって身体・知的・精神の3種類に分かれています。

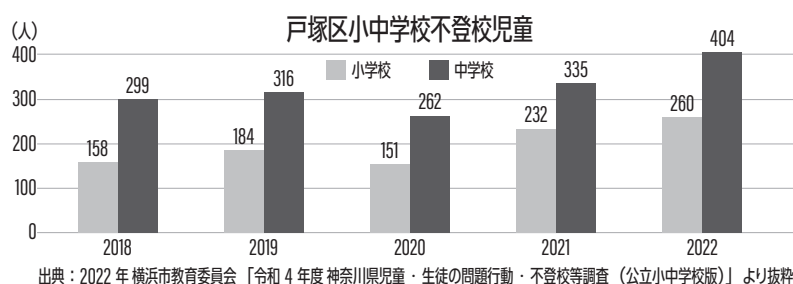
知的障害の手帳（愛の手帳）・精神障害者保健福祉手帳の所持者が増加しています。

障害者が安心して暮らせる地域づくりが必要です。



■ 不登校数 ■

小中学校の「不登校」の数値は、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルスの感染回避」による者を除く。）を計上しています。



※グラフ内の年号（和・西暦）は出典元のデータに合わせて表記しています。